

事務事業評価(事前評価)シート【令和4年度】

主管課(担当名)	農林課(林務・自然保護担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	鳥獣被害防止対策事業	事業番号	12943

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	4-2	自然保護の推進
	施策目標	自然と共生し優れた環境を未来へつなぐまち	

2 事務事業の目的

目的	根室市鳥獣被害防止計画に定める対象鳥獣(エゾシカ、ヒグマ、ハシブトガラス・ハシボソガラス、キツネ、ラッコ、タヌキ、アライグマ)による各種被害防止のため、関係機関と連携・協働による各種被害防止施策を実施する。
成果	対象鳥獣による各種被害の未然防止や各種啓発活動を通じて、安全対策の強化を図る。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input checked="" type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	R2							
R3								
R4	①根室市鳥獣被害対策実施隊員の任命 ②エゾシカ有害駆除事業(銃猟及び囲いわな) ③捕獲体制の強化(猟銃免許取得促進のための補助) ④ヒグマ出没対応 ⑤ヒグマ捕獲時を想定した各種対応							
R5	①根室市鳥獣被害対策実施隊員の任命 ②エゾシカ有害駆除事業(銃猟及び囲いわな) ③捕獲体制の強化(猟銃免許取得促進のための補助) ④ヒグマ出没対応 ⑤ヒグマ捕獲時を想定した各種対応							
R6	①根室市鳥獣被害対策実施隊員の任命 ②エゾシカ有害駆除事業(銃猟及び囲いわな) ③捕獲体制の強化(猟銃免許取得促進のための補助) ④ヒグマ出没対応 ⑤ヒグマ捕獲時を想定した各種対応							
事業費と内訳	(単位:千円)	R2	R3	R4	R5	R6	総事業費	
	事業費			7,002	7,002	7,002	21,006	
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他			1,070	1,070	1,070	3,210
		一般財源			5,932	5,932	5,932	17,796
	人員(人工)			0.25	0.25	0.25	0.75	
職員費(人員×7,513千円)			1,878	1,878	1,878	5,635		
総事業費			8,880	8,880	8,880	26,641		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
	合計/年							

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R3)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	チラシや広報誌、インターネット等の各種媒体を通じての通知	8回	-	10回
	エゾシカの有害駆除数(年間)	1,600頭	-	1,600頭
	捕獲従事者数(銃器従事者証交付数)	40人	-	45人
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	駆除による個体数の減少及び、市民周知による注意喚起を行うことで、対象鳥獣に対する市民意識が高まり、各種事故や被害防止に繋がる。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 対象鳥獣による事故が全道的に発生しており、各方面からも被害防止対策を望む声は多く、市民ニーズは高い。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 鳥獣被害は多方面に渡るため、市が主体となり、関係機関と連携した中で事業を実施すべきである。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 対象鳥獣の一つである、ヒグマによる事故や被害は、いつ発生してもおかしくない現状にあることから、緊急性は高い。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 事業実施に際しては、事前に関係機関と協議の上、対応策等を実施していることから手段は適切である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 関係機関と連携した中で、その要望等を踏まえた事業を実施していることから、その公平性は高い。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 対象鳥獣による各種事故や被害防止が期待されることから、本事業の有効性は高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<input checked="" type="checkbox"/> 【速やかに実施】 速やかに事業推進を図り、関係機関と連携・協働による被害防止施策の実施に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 関係機関との協議を行い、速やかに対象鳥獣による被害防止施策を実施し、その被害軽減を図る。